

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともに作る学校」の推進を図ります。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ① 学習支援員による学習支援

地域住民や保護者の方々の学習支援活動の取組として、外国語活動、3・4年生の毛筆、1・2年生の音楽、読み聞かせ、計4名の学習支援員さんにお世話になりました。外国語活動では、英語指導員や担任と連携して授業の支援を、また、毛筆や音楽の支援員さんには、習字のお手本やピアノ伴奏などの技術的な支援だけではなく、児童一人ひとりに関わるきめ細やかな支援もしていただきました。図書の読み聞かせでは、学年に応じた図書の本を選定してもらい、1年間を通してたくさんの図書の本の読み聞かせをしていただきました。



【書写の学習支援】



【英語活動の学習支援】



【音楽の学習支援】



【読み聞かせの学習支援】

## ②地域学習活動

2年生「生活科」では、まちたんけんをしながら、地域と深いかわりのある場所ごとにお話を聞かせていただきました。地域のお寺の住職には地域に伝わる民話の紙芝居をお世話になりました。その民話をもとに歌や劇を創り「文化フェスティバル」(学習発表会)で発表しました。文化フェスティバルは、保護者・地域の方々も招くことで、子どもたちの様子や学習内容を知らせる機会としました。



遠保神社宮司によるお話



善導寺住職による紙芝居



「文化フェスティバル」で  
地域の民話を舞台発表

## ③ ゲストティーチャーによる授業支援

本校は、自然環境にも恵まれ、竹林や梅林、田や畑が広がっており、それらの地域素材を活用した学習が可能です。地域にお住いの方をゲストティーチャーに招き、各学年に応じた体験学習活動をしています。



【3年生たけのご掘り体験活動】



【4年生梅ちぎり体験活動】



【5年生米作り体験活動】

## (2) コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

運営協議会委員長が地域を活かした学習コーディネーター役として学校教育活動に積極的に参画しています。各学年に応じた活動に協力してもらえるゲストティーチャー(本人をはじめとして団体や地域の方)を招き、様々な教育活動にご支援いただきました。地域の素材を使って、地域の方々とともに体験活動をすることで、地域のことを知り地域の方々の思いや優しさにふれる機会となり、自分の住んでいる地域のよさを理解し大切にしようとする心を育むことにつながることができました。

4人の学習支援員さんには定期的に学習支援をしていただき児童たち一人ひとりにきめ細やかな支援を行うことができました。また、地域と学校の連携・協力も深めることができ、学校理解も深まりました。

地域の教育力を十分に活かした教育活動や同時に学校だより、HPなどで活動報告を発信したり保護者・地域の参加型行事を組んだりすることで、学校教育活動を地域に理解してもらい地域コミュニティの核としての学校づくりを推進することができました。

コミュニティスクール運営協議会委員さんは、自治会、民生委員、学習ボランティア、

P T A役員など10名で構成されています。さまざまな立場からご意見をいただき、学校教育活動に対してご理解いただきながら助言、提案をしていただいています。その中で本年度の「あいさつ」の取組から、少しずつあいさつできる子が増えてきたことは成果であったという意見がありました。今後は、さらに保護者地域を巻き込んで大人が手本となって「あいさつ運動」を強化していき、地域一丸となって主体的にあいさつできる子どもを育てようとの願いも持っています。

### 3 今後に向けて

地域の方や運営協議会委員さんの学校教育活動への支援は、子どもたちの学力向上とともに人や地域への心の教育にもつながっています。地域素材を活かした学習や体験活動を充実させるためには、年間計画を明確にし、地域・保護者との連携を密にしていく必要があります。

また、年度末には学校づくりビジョンの実現に向けた取組の振り返りをし、成果と課題を明らかにしていきます。本年度も今までの取組を知らせ、子どもたちの様子や教師の指導などを参観してもらい、学校の現状を把握してもらった上で学校関係者評価をしていただきました。学校づくりビジョンの実現に向けて、評価に対するご助言・ご提案を来年度のビジョンの具体的な取組に活かし、地域とともに開かれた学校づくりの取組を推進していく予定です。

## 別紙B

## 平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重北小学校

委員長 樋口 和美

校長 岡本 雅代

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	17日(木) 10:30~12:20 第1回運営協議会	① 小規模対策事業説明 ② コミュニティスクールについて ③ 学校づくりビジョンの説明および承認 ④ 活動方針および年間活動計画 ⑤ 学校運営に対する意見交流 各教室にて給食試食会実施
6	16日(土) 9:00~12:00 第2回運営協議会	① 土曜日活動 三重北小学校創立40周年記念行事 参観 ② 音楽鑑賞会演奏鑑賞(ア・ピアチェーレ) ③ 取組報告(学年別行事、学習支援紹介) ④ 協議・情報交換
7		
8		
9		
10		
11	3日(土) 9:00~12:00 第3回運営協議会	① 土曜日活動 文化フェスティバル参観 ② 取組報告(全国学力・学習状況調査結果概要、三 重北小体力向上の取組概要) ③ 協議・情報交換
12		
1	18日(金) 13:30~15:30 第4回運営協議会	① 授業参観 ② 参観された授業について ④ 学校自己評価について ⑤ 学校関係者評価について
2	16日(土) 11:00~12:00 第5回運営協議会	① 学校関係者評価について協議 ② 平成31年度学校づくりビジョンについて
3		